

機器接続マニュアル



機器接続マニュアルに関する注意事項

本書を正しくご使用いただくために、ご使用前に必ず「マニュアルPDFをダウンロードする前に」をお読みいただき、「はじめに(商標権などについて、対応機種一覧、マニュアルの読み方、表記のルール)」マニュアルをダウンロードしてください。ダウンロードされたマニュアルは、必ずご利用になる場所のお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。

(株) 東芝製 接続可能な機器一覧

GP と接続可能な (株) 東芝製の機器一覧を示します。

PLC

1:1 接続

シリーズ名	CPU	リンクI/FまたはCPU直結	画面作成ソフトでの「機器タイプ」	GP シリーズ GLC2000 シリーズ 対応	GLC100 シリーズ GLC300 シリーズ 対応
PROSEC EX	EX2000	CPUユニット上のリンクI/F	東芝 PROSEC-EX2000 シリーズ		×
PROSEC T	T3 T3H T2N T2E T2E	CPUユニット上のリンクI/F CM231E	東芝 PROSEC-T シリーズ		
V	S3PU45A S3PU55A S3PU65A S2PU22A S2PU32A S2PU72A S2PU72D	CPUユニット上のコンピュータリンクI/F			
PROVISOR B	B200CH B200CUF B200CURM B200CUFRM	B2000LM	東芝機械 TC200シリーズ		

n:1(マルチリンク)接続

シリーズ名	CPU	リンクI/F	特記事項	PRO/PBIIIでの「PLCタイプ」	GP シリーズ GLC2000 シリーズ 対応	GLC100 シリーズ GLC300 シリーズ 対応
PROSEC T	T3	CPUユニット上のリンクI/F		東芝 PROSEC-T シリーズ		×

イーサネット通信

シリーズ名	CPU	リンクI/F	画面作成ソフトでの「PLCタイプ」
PROSEC-T	T3H	EN311	東芝 PROSEC-T(ETHER)
	T2N	PU-235N PU-245N	
V	S3PU45A S3PU55A S3PU65A	EN711	
		EN721	
		EN731	
		EN741	
		EN751	
		EN761	
	FN711		
	S2PU72A S2PU72D	EN611	
		EN621 EB621 EN631 EN641 EB641	

イーサネット通信可能なGP/GLCシリーズ、オプションイーサネットI/Fユニットの使用可否、内蔵イーサネットポートの有無は以下の通りです。

シリーズ名	商品名	オプションイーサネットI/Fユニットの使用可否	内蔵イーサネットポートの有無	
GP70シリーズ	GP-470シリーズ	GP-470E	×	
	GP-570シリーズ	GP-570S		×
		GP-570T		×
		GP-57JS		×
		GP-570VM		×
		GP-571シリーズ	GP-571T	
	GP-675シリーズ	GP-675S		×
		GP-675T		×
GP-870シリーズ	GP-870VM		×	
GP77Rシリーズ	GP-377Rシリーズ	GP-377RT	*1 *2	×
	GP-477Rシリーズ	GP-477RE	*2	×
	GP-577Rシリーズ	GP-577RS	*2	×
		GP-577RT	*2	×
GP2000シリーズ	GP-2300シリーズ	GP-2300L	×	
		GP-2300T	×	
	GP-2400シリーズ	GP-2400T	×	
	GP-2500シリーズ	GP-2500T	*3 *4	
	GP-2501シリーズ	GP-2501S	*2 *3	×
		GP-2501T	*2 *3	×
	GP-2600シリーズ	GP-2600T	*3 *4	
GP-2601シリーズ	GP-2601T	*2 *3	×	
GLC2000シリーズ	GLC2300シリーズ	GLC2300L	×	
		GLC2300T	×	
	GLC2400シリーズ	GLC2400T	×	
	GLC2500シリーズ	GLC2500T	*3 *4	
	GLC2600シリーズ	GLC2600T	*3 *4	
STシリーズ	ST403	×		

-
- *1 マルチユニットのみ使用可能です。
 - *2 2Wayドライバ(Pro-Server、GP-Webなど)は使用できません。
 - *3 オプションイーサネットI/Fユニットを使用する場合は、別途バス変換ユニット(PSL-CONV00)が必要です。
 - *4 オプションイーサネットI/Fユニットを使用した場合、2Wayドライバ(Pro-Server、GP-Webなど)のアプリケーションで使用するネットワークと、PLCで使用するネットワークを別々のクラスやネット番号にすることができます。その場合、PLCと通信するのはオプションイーサネットI/Fユニット側となります。